

今回の特集には珍しく JRC という表記が使われています。日本蘇生協議会 (Japan Resuscitation Council) の略号であり、協議会の蘇生ガイドラインを広く購読者の先生方に知っていただくこと、とりわけ小児医療の観点からポイントを絞ってわかりやすくご紹介することを目的に、8名のエキスパートの方々に概説をお願いしました。また、お二人の先生にはコラムを執筆していただき、COVID-19 との関連、日本小児科学会の取り組みについてもご紹介いただきました。

今回の特集企画を通じて、「小児科医にとっての大仕事は、まれに、そして突然にやって来る」ということに思いが及びました。救急外来を含めて小児患者の多くは軽症であり、目の前にいる患者の重症度が積極的な治療、ましてや蘇生を要する程度である可能性は他の診療科にくらべれば低いと言えます。裏を返せば、軽症と思われる多くの患者のなかに潜んでいる数少ない重篤な病態・急変の可能性を見逃さないことが小児救急の場面で求められる能力とも言えるのではないのでしょうか。

周産期・新生児医療も多くは文字通り“おめでた”であり、そのなかで、まれに、しかし突然起こる不測の事態に迅速かつ的確に対応することも小児科医の使命です。小児救急と周産期医療に代表される“スタンバイの美学”は小児医療の誇るべき側面であり、今回の特集から、そのような小児医療の特性も感じ取っていただければ幸いです。

病態が重篤になればなるほど多くの医療資源が投入され、“高度な医療”が提供されます。その意味で蘇生とは、最も高度な医療の提供に他なりません。そのような観点から蘇生に関わる医療は、基礎医学の進歩、最先端の医療機器や新規医薬品の開発、エビデンスに基づく優れた治療ガイドラインの策定、チーム医療の充実によるところが大きいと言えます。

高度な技術を駆使して重い病態を治療することができるようになった現代医学においても、個々の医師の積年の経験、最新の知識と、それらを活かすための周到な準備、すなわちスタンバイの美学が小児の蘇生の本質ではないでしょうか。

(高橋 孝雄)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄 (ABC 順)

小児科

第 63 巻 第 3 号 3 月号

2022 年 3 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

年間購読料金

定価 47,630 円 (本体 43,300 円 + 税 10%)

[年間 13 冊 (増刊号、増大号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。